

「イギリス海岸出現の試み」でイギリス海岸出現

宮沢賢治の命日である9月21日に開催された「賢治祭」に合わせて、賢治が命名した「イギリス海岸」(花巻市上小舟渡地先にある北上川右岸の川岸)出現の試みを行い、令和元年以来、4年ぶりにイギリス海岸が出現しました。

イギリス海岸出現状況 朝日橋水位観測所 $H=-0.67\text{m}$



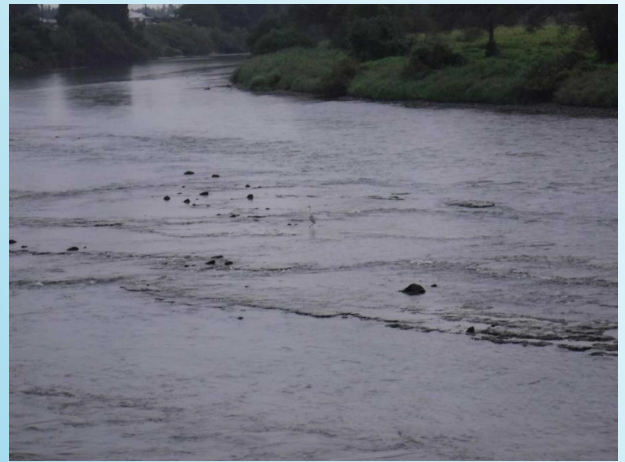
この試みは今年で16回目であり、過去の試みではH21年、H24年、H26年、H28年、R1年に出現に成功しております。今年も発電事業者等の全面的な協力のもと、国管理の3ダム(四十四田ダム、御所ダム、田瀬ダム)と岩手県管理の3ダム(綱取ダム、早池峰ダム、築川ダム)と猿ヶ石発電所(東北電力(株))による事前会議の開催等、調整を図ってきました。前日から各ダムの放流調整を実施いただき、徐々に水位が下がり、9月21日12:00時点で朝日橋水位観測所の水位が $H=-0.67\text{m}$ となり、イギリス海岸の出現に成功しました。

出現した泥岩層は降雨により常に濡れていたことから、乾いて白色となることがなく、イギリス海岸の由来となった白亜の泥岩をくっきりと見ることは叶いませんでしたが、雨の中、多くの方にお越しいただき、賢治を偲ぶ姿が見られました。

◆参加協力機関◆

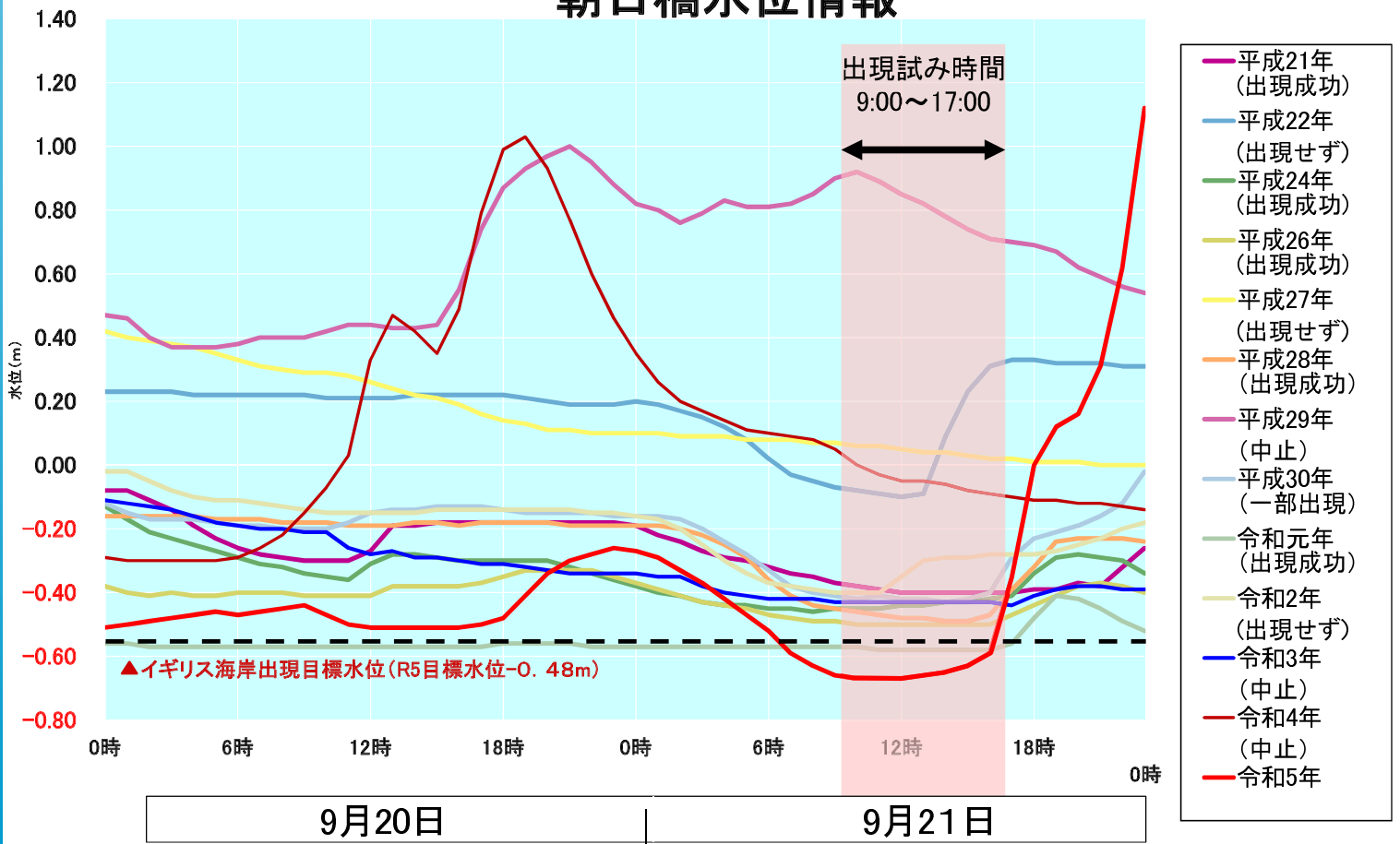
東北電力株式会社、電源開発株式会社、岩手県企業局、岩手県県土整備部、花巻市、岩手河川国道事務所、北上川下流河川事務所、北上川ダム統合管理事務所

令和5年9月21日(木) イギリス海岸出現の試みに成功



令和5年9月21日撮影

朝日橋水位情報



令和5年9月21日(木)パネル展



令和5年9月21日(木)イギリス海岸



「イギリス海岸」出現の試みとは

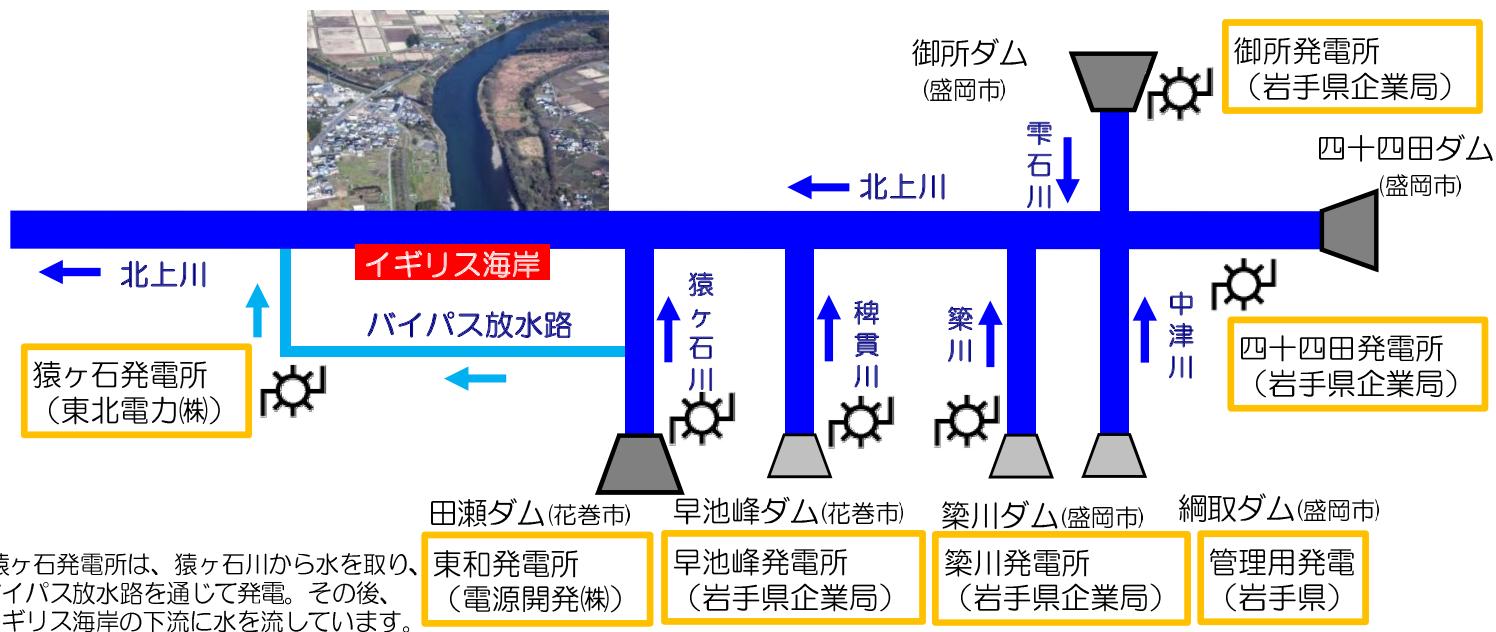
普段は北上川の水中にあるイギリス海岸を出現させるためには北上川を流れる水の量を少なくして、水位を下げる必要があります。

そこで、イギリス海岸を出現させるため、発電事業者やダム管理者と協力して以下の対応を行います。

- ①発電に使う水を減らすことで、川を流れる水の量を少なくして北上川の水位を下げています。
- ②猿ヶ石発電所は、猿ヶ石川から水を多く取り、バイパス放水路を通じてイギリス海岸の下流に水を流しています。

普段の状態

北上川や支川にあるダムでは、普段は「発電事業者」がダム湖の水を使って発電していて、発電に使った水は、ダムの下流の川へ流しています。



※猿ヶ石発電所は、猿ヶ石川から水を取り、バイパス放水路を通じて発電。その後、イギリス海岸の下流に水を流しています。

イギリス海岸出現の試みでは

発電で使う水を減らし、川を流れる水の量を少なくすることで、北上川の水位を低下させます。

